

米沢興讓館高校SSH通信

今年度で4回目となる「科学の甲子園」は、高等学校等の生徒チームを対象として、理科・数学・情報における複数分野の競技を行う取り組みである。主催する独立行政法人科学技術振興機構（JST）は、平成23年度に「科学の甲子園」を創設し、全国の科学好きの高校生が集い、競い合い、活躍できる場を構築した。このような場を創ることで、科学好きの裾野を広げるとともに、トップ層を伸ばすことを目指している。

本校は第1回目より毎年参加し、県内予選大会上位に食い込むことはできていたが優勝チームに与えられた全国大会出場のカギを手に入れることは叶わなかった。しかしながら、4回目のチャレンジとなる今回、とうとう県大会優勝の栄冠に輝くことが出来た。それも県大会準優勝チームの総合点392点に対し、総合点685点と大差をつけての勝利だった。それぞれの競技別個別成績をみても、筆記競技1位191点（平均点125点）、実験系実技競技1位235点（平均点131.8点）、総合系実技競技1位259点（平均点62.4点）と全ての競技で1位を獲得した。特にホバークラフトを作製し、それを実際に走らせ、その時間で競う総合系実技競技では、圧倒的な強さを見せた。左の写真はその表彰式のものである。是非この勢いで県の代表として全国大会でも活躍してきてもらいたい。



祝「科学の甲子園」全国大会出場！

「科学の甲子園」山形県大会に参加して2年普通科男子生徒（米沢四中出身）昨年11月15日に数学・情報・生物・化学・物理・地学の科学分野の知識を競い合う科学の甲子園山形県大会に参加した。

大会では、筆記・実験・総合実技の3つの競技が行われた。いずれの競技も経験したことのない難しいものばかりであったが、私たち米沢興讓館チーム8人は、どの競技でも各人が得意分野を生かし、県で優勝を飾ることができた。

特に、総合実技のホバークラフトレースは、1時間で自作し、レースをするという厳しい条件であった。しかし、大会前日まで何度も試行錯誤を繰り返して、本番では最高のパフォーマンスを発揮することができた。

3月20～23日に行われる全国大会では、各県から集まる強豪相手に戦うことになる。そこでも、県大会以上のパフォーマンス、チームワークを発揮し、米沢興讓館の名を全国に轟かせたいと思う。

第4回 科学の甲子園 全国大会

2015年3月20日(金)～23日(月)

開催場所
つくば国際会議場 (茨城県つくば市竹園 2-20-3)
つくばカピオ (茨城県つくば市竹園 1-10-1)

詳しくは、科学の甲子園ホームページをご覧ください
<http://rikai.jst.go.jp/koushien/>

集え！ハイスクールサイエンティスト！

都道府県大会への参加方法
第4回科学の甲子園全国大会出場に向けた都道府県代表選考会への参加方法については、各都道府県の教育委員会に確認してください。

お問い合わせ
独立行政法人科学技術振興機構
理数学習推進部 才能育成グループ
TEL: 048-226-5665
FAX: 048-226-5684
E-mail: koushien@jst.go.jp

共催：茨城県、茨城県教育委員会、つくば市
高等学校文化連盟全国自然科学専門部
後援：文部科学省(予定)

アッピン
科学の甲子園 イメージキャラクター

科学の甲子園 JST 独立行政法人 科学技術振興機構
Japan Science and Technology Agency

第4回「科学の甲子園」全国大会 大会スケジュール

日付	午前・午後	プログラム
3月20日	午後	選手団到着・受付・チェックイン
		開会式
		オリエンテーション
		スワップミーティング
21日	午前	筆記競技…習得した知識とその活用を問う
	午後	実技競技① 実験、実習、考察、ものづくりの能力、 実技競技② コミュニケーション能力等を競う
22日	午後	実技競技③
		特別シンポジウム
		表彰式
		協賛企業と教育関係者との交流会
		協賛企業等によるエキシビション競技、ブース展示等
フェアウェルパーティー		
23日	午前	チェックアウト、エクスカージョン、解散

029 山形県立米沢興讓館高等学校SSH事務局

URL <http://www.yonezawakojokan-h.ed.jp/> Email yonekojo@pref-yamagata.ed.jp
〒992-1443 山形県米沢市大字笹野1101番地 TEL0238-38-4741 (代表)

